

## グローバル・カフェ 留学報告イベント（チェンマイ大学）を開催しました

2025年7月11日（金）、留学報告イベントを実施しました。2024年10月から2025年3月までタイ・チェンマイ大学へ留学した小川奈緒子さんと四宮奏子さんが、現地での授業や生活、文化体験などについて報告しました。イベントには発表者の他に、日本人学生2名、留学生1名、教職員4名の計7名が参加しました。



小川さんは、当初「太陽電池の応用など、再生可能エネルギーに関する研究を行いたい」と考えていました。しかし、現地ではその分野の授業が開講されておらず、代わりにタイで深刻な社会問題となっている大気汚染について学ぶことにしました。授業はすべて英語で行われ、最初は苦労したものの、バディや周囲の支えを受けながら専門用語を習得し、徐々に質問もできるようになったと語りました。また、日本との違いとして、先生と学生の距離の近さや、SNSで気軽につながるなどカジュアルなコミュニケーションのスタイルにも驚いたと話し、参加者の関心を集めました。

四宮さんは、伝統文化や地域産業の衰退を食い止めるために「伝える力」を鍛えたいという思いから留学を決意したと語りました。現地では、グループワークやフィールドワークなど実践的な授業が多く、座学だけでは得られない学びがあったそうです。また、授業には厳しいルールは少ないものの、テストやプレゼンテーションの際には制服の着用が義務付けられているなど、タイ独自の文化にも触れることができました。そうした環境の中で、計画性や自己管理の大切さを学ぶ機会も多く、勉強以外でも得るものが多かったと振り返りました。タイの学生たちは自分の意見をしっかり表現し、他人の考えを尊重する姿勢が強く、全体的な自己肯定感の高さに感銘を受けたそうです。そうした姿勢に触れることで、積極的に行動することの大切さを実感し、自分自身の成長にもつながったと語ってくれました。



最後に「また留学したいですか？」という質問に、2人とも「またタイに行きたい！」と笑顔で答えてくれました。

小川さん、四宮さん、貴重なお話をありがとうございました！